「ワンデーレスポンス」とは

参考資料

工事監督業務のひとつとして

工事受注者から質問・指示依頼があった場合、できる限り「その日のうち」に解決するよう努力する。 その日のうちに解決できない場合でも、回答日を 予告するなど、次の段取りができるような何らかの 回答を「その日のうち」にするというもの。



これにより、工事受注者は「手待ち」がなくなり、効率的 (時間的・経済的)な現場作業が可能となる。

「現場を待たせるな」「分らなかったら相談せよ」などの言葉で、これまでも先輩から言われてきたことを、今一度、組織的にシステム的に取り組もうとするもの。

期待される効果 参考資料 発注者の効果 現場トラブル拡大の防止 経験·技術力·判断 手待ちの減少による 力などの伝承 ・受注者が綿密な施工計画に基づいて工程管理を 効率的な現場施工の おこなうことは、不測の事態が発生した際の対応が 適切におこなわれることが期待できる。 ・自発的なOJT(職場内訓練)が 実現 実践されコミュニケーションの向 上や技術の伝承につながる。 トラブル発生の際のレスポンスタイムを短縮するば ・現場での手待ちが減 かりでなく、トラブルの拡大を防ぐことにもつながる。 少し効率的な現場施工 が可能となる。 スピード感を要求さ 報告・連絡・相談による情報共 れることによる緊張 ・回答日を予告すること 有の実現 により現場では、次の段 感や意識改革 取りが可能となる。 現場の問題点や進捗状況等 ・発注者の「技術力」も必要と の情報が共有され、様々な視 なるため、学習や知識の蓄積 点からの把握が可能となる が不可欠となる。 ・素早い対応を要求されること から緊張感が生じ、業務に対 する意識の改革につながる。 行政サービスの向上 工事が円滑に行われ、工事工期が短くなることで ・周辺住民への工事の影響が少なくなる。 早く使えるようになる。